

別紙5

研究成果申告書

難治性疾患政策研究事業	
(研究課題名) 小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究 (H27-難治等(難)-一般-013)	
(研究代表者名) 臼井 規朗 (大阪府立母子保健総合医療センター小児外科)	
(研究期間) 平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	
研究課題の概要(目的、方法、期待される成果等、200 字程度で記述)	
<p>わが国における小児呼吸器形成異常・低形成疾患(以下本症)に対する治療の標準化、診療の均てん化、high volume center への症例の集約化を目的として、実態調査を実施して科学的根拠を集積・分析する。さらに診断基準(診断の手引き)や重症度分類を作成したうえで、主たる学会・研究会との連携の下に診療ガイドラインを作成する。その結果、本症の治療成績の向上に加え、難病指定や小児慢性特定疾患の指定を通じて本症に対する社会保障制度の充実が期待される。</p>	
対象疾患リスト	
<p>(1)先天性横隔膜ヘルニア (2)先天性嚢胞性肺疾患 (3)気道狭窄 (4)頸部・胸部リンパ管腫・リンパ管腫症</p>	
目標・成果物	<p>(1)-1.先天性横隔膜ヘルニアの診療ガイドライン案を策定する。 (平成 27 年 6 月までに)</p> <p>(1)-2.先天性横隔膜ヘルニアの診療ガイドラインについて、 日本小児外科学会、日本周産期新生児医学会の承認を得る。 (平成 27 年 9 月までに)</p> <p>(1)-3.先天性横隔膜ヘルニアの診療ガイドラインを Web 上で公開する。 (平成 27 年 9 月までに)</p> <p>(1)-4.先天性横隔膜ヘルニアの症例登録制度を開始する。 (平成 28 年 6 月までに)</p> <p>(1)-5.先天性横隔膜ヘルニアに関する前向き研究を開始する。 (平成 28 年 9 月までに)</p> <p>(2)-1.先天性嚢胞性肺疾患の診断基準を策定する。 (平成 27 年 6 月までに)</p> <p>(2)-2.先天性嚢胞性肺疾患の診断基準について、日本小児外科学会、 日本小児呼吸器外科研究会の承認を得る。(平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(2)-3.先天性嚢胞性肺疾患の重症度分類を策定する。 (平成 27 年 6 月までに)</p> <p>(2)-4.先天性嚢胞性肺疾患の重症度分類について、日本小児外科学会、 日本小児呼吸器外科研究会の承認を得る。</p>

	<p>(平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(2)-5.先天性嚢胞性肺疾患の診療ガイドラインを策定する。 (平成 29 年 3 月までに)</p> <p>(2)-6.先天性嚢胞性肺疾患の診療ガイドラインについて、日本小児外科学会、日本小児呼吸器外科研究会の承認を得る。 (平成 29 年 3 月までに)</p> <p>(3)-1.全国調査を行い小児気道狭窄患者の実態を把握する。 (平成 27 年 3 月までに)</p> <p>(3)-2.小児気道狭窄の診断基準を策定する。 (平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(3)-3.小児気道狭窄の診断基準を学会で承認する。 (平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(3)-4.小児気道狭窄の重症度分類を策定する。 (平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(3)-5.小児気道狭窄の重症度分類を学会で承認する。 (平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(3)-6.小児気道狭窄の診療ガイドラインを策定する。 (平成 29 年 3 月までに)</p> <p>(3)-7.小児気道狭窄の診療ガイドラインを学会で承認する。 (平成 29 年 3 月までに)</p> <p>(4)-1.登録システムを用いた頸部・胸部リンパ管腫・リンパ管腫症の web 調査研究を開始する。(平成 27 年 10 月までに)</p> <p>(4)-2.頸部・胸部リンパ管腫・リンパ管腫症の診療ガイドラインを策定する。 (平成 28 年 3 月までに)</p> <p>(4)-3. 頸部・胸部リンパ管腫・リンパ管腫症の診療ガイドラインについて、日本小児外科学会、日本形成外科学会、日本放射線科学会、日本皮膚科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本小児科学会、日本小児血液・がん学会等の承認を得る。 (平成 28 年 9 月までに)</p>
目標・ 成果物の 達成状況 (1 年目 評価 時点)	<p>(1)-1.達成済み(平成 27 年 6 月)</p> <p>(1)-2.達成済み(平成 27 年 9 月)</p> <p>(1)-3.達成済み(平成 27 年 9 月)・・・資料(1) http://www.mch.pref.osaka.jp/hospital/department/shounigeka/cdh.html</p> <p>(1)-4.未達成(平成 28 年 6 月を目標)</p> <p>(1)-5.未達成(平成 28 年 9 月を目標)</p> <p>(2)-1.達成済み(平成 27 年 6 月)・・・資料(2)-1</p>

	<p>(2)-2.達成見込み 予定より遅延(平成 29 年 3 月予定)</p> <p>(2)-3.達成済み(平成 27 年 6 月)・・・資料(2)-2</p> <p>(2)-4.達成見込み 予定より遅延(平成 29 年 3 月予定)</p> <p>(2)-5.達成見込み(平成 29 年 3 月) (平成 28 年 3 月に文献レビュー終了予定)・・・資料(2)-3</p> <p>(2)-6.未達成(平成 29 年 3 月を目標)</p> <p>(3)-1.達成済み(平成 27 年 4 月)・・・資料(3)</p> <p>(3)-2.達成見込み(平成 28 年 3 月)</p> <p>(3)-3.達成見込み(平成 28 年 3 月)</p> <p>(3)-4.達成見込み(平成 28 年 3 月)</p> <p>(3)-5.達成見込み(平成 28 年 3 月)</p> <p>(3)-6.未達成(平成 29 年 3 月を予定)</p> <p>(3)-7.未達成(平成 29 年 3 月を予定)</p> <p>(4)-1.達成済み(平成 27 年 10 月)・・・資料(4)</p> <p>(4)-2.達成見込み(平成 28 年 3 月)現時点でシステムティック・レビュー の二次スクリーニングを終了・・・資料(4)</p> <p>(4)-3.達成見込み(平成 28 年 9 月)</p>
<p>目標・ 成果物の 達成状況 (2 年目 評価 時点)</p>	
<p>目標・ 成果物の 達成状況 (3 年目 評価 時点)</p>	

< 次ページ以降に、成果物を証明する文書(のコピー)等を添付して下さい >